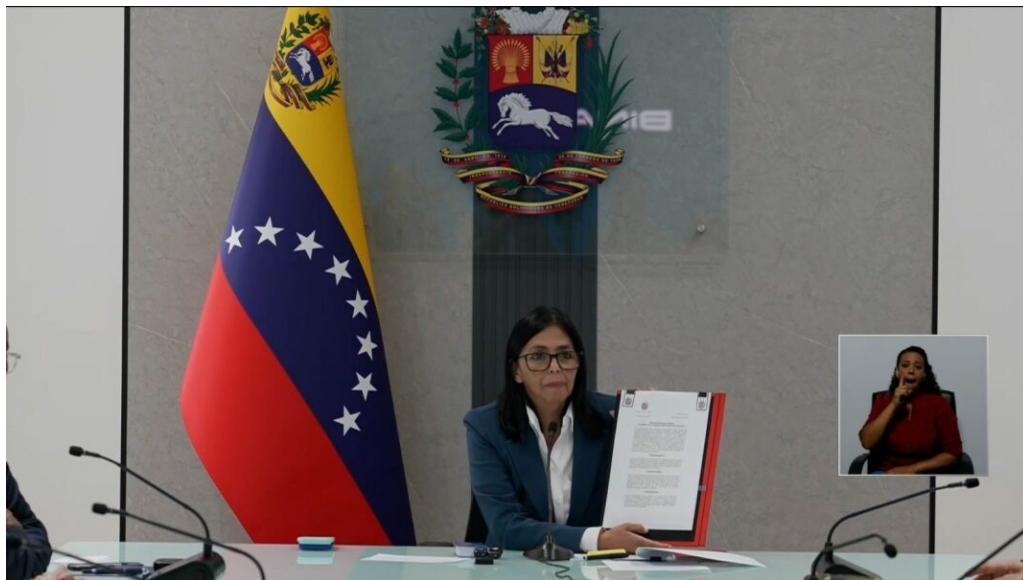


私たちは二度と植民地にはならない

デルシー・ロドリゲス（ベネズエラ大統領代行）

インターナショナリスト 360° 2026 年 1 月 4 日



以下は 2026 年 1 月 3 日、米による攻撃の後、大統領代行に就任したデルシー・ロドリゲス女史がベネズエラ国防評議会と共に発表した声明。

ベネズエラの国民と国際社会がよく知っているように、本日午前 1 時 58 分ちょうどに、アメリカ合衆国政府はボリバル共和国ベネズエラに対して前例のない軍事侵略を開始しました。これは二国間関係の発展に重大な汚点を残す。

この軍事作戦の最中、ニコラス・マドゥロ大統領とファーストレディである第一戦闘員シリア・フローレスが捕らえられました。私たちはすでに、虚偽の言い訳や偽りの口実で攻撃が進行中であり、仮面が外れたことを警告していました。この侵略の目的はただ一つ、ベネズエラの政権交代であり、我々のエネルギー資源、鉱物資源、天然資源の奪収を可能にすることでした。それが真の目的であり、世界と国際社会はこれを知らなければなりません。

私たちはこの国家防衛評議会を招集し、ベネズエラ国家の公的機関が参加しています。ベネズエラ立法府の大統領、ホルヘ・ロドリゲス博士、司法部長のカリリア・ベアトリス博士、そして道徳部門の会長である司法長官タレク・ウィリアム・サーブが出席しました。また、国防大臣も参加しています。ボリバル国防軍戦略作戦司令部(CEO FANB)のCEO長、市民安全担当副大統領、副大統領評議会、そしてボリバル共和国ベネズエラの外務大臣、そしてこの国家防衛評議会のために招集した特別ゲストも含まれます。

これから、私たちはベネズエラ唯一の大統領であるニコラス・マドゥロ大統領とその妻シリア・フローレスの即時釈放を要求します。ここにはベネズエラ国家の最高指導部、すなわち軍最高司令部、国家最高司令部、副大統領評議会最高司令部が立っています。

ベネズエラの国家権力の政治的要素はすべて統一されています。そしてベネズエラの街頭には、すでに共和国大統領が発した呼びかけに応じて動員された人々もいます。もし自分に何かあれば、人々は街頭に繰り出すだろうと警告した。武装勢力は職場で動員され、ボリバル国軍は国土全域に展開・動員される予定だった。市民治安機関が発動される。ベネズエラの全ての国家力が動員され、シモン・ボリバルの子孫として私たちが相続によって何であるかを再確認しようとした。相続により、我々は国家の独立、主権、そして本日未明に激しく攻撃された領土保全を守る神聖な義務を負っています。

国際社会は結束し、ベネズエラを支持する声を上げています。中国、ロシア、ラテンアメリカ、カリブ海、アフリカ、アジアから、世界中の政府は、ボリバル共和国ベネズエラがこのような攻撃の犠牲者かつ標的となつたことにただただショックを受けています。この攻撃は間違いなくシオニズムの烙印を刻んでいます。本当に恥ずべきことです。

我らの解放者の父は『ジャマイカからの手紙』[1815年]でこう言った。「ペールは破られた;私たちはすでに光を見ており、彼らは私たちを闇に戻そうとしています。鎖は断ち切られた。我々はすでに自由を得ており、敵は再び我々を奴隸にしようとしている。」ベネズエラの人々とこの国が絶対に明確にしてい

ることが一つあるとすれば、それは私たちは二度と奴隸ではなく、いかなる帝国の植民地にもならないということです。

私はニコラス・マドゥロ大統領の言葉に同感します。彼はわずか2日前にテレビインタビューで、建設的な議題を追求するために対話を維持する意志を再確認しました。そしてその反応は、国連憲章第1条と第2条を公然と違反するこの攻撃的な態度でした。

マドゥロ大統領はアメリカ国民に手を差し伸べました。真の国家元首として、彼は外交的、政治的、制度的なコミュニケーションチャネルが何であるべきかを再確認しました。すなわち、真の国家のものであり、人々の福祉、友情、協力、国際法の尊重に基づく国際関係を遂行する国家です。それが私たちベネズエラ人です。

したがって、私たちはベネズエラの人々に冷静さを保つよう呼びかけます。そうすれば、完全な国家的統一の中で、この瞬間に立ち向かい、警察、軍、国民の融合が一つの体となり、この主権と国家独立を守るという特別な段階を経て、愛するベネズエラを守るために一つの体として団結できるよう願っています。

そのベネズエラは、宇宙史上最も偉大な人物から受け継いだ。そのベネズエラは、ボリバルから、シモン・ボリバルから、[フランシスコ・デ]・ミランダから、[ラファエル]・ウルダネタから、[アヤクーチョの戦い]から、我々の英雄たちから、我々の英雄たちから、この聖なる地に蒔かれ、屈しない民の尊厳を守るために蒔かれた殉教者たちから、そしてこの国々は二度と誰の植民地にもならない——古代帝国の植民地であれ、新しい帝国であれ、衰退する帝国の植民地であれ——から受け継いだ。我々は自由になることを決意している。

ベネズエラに対して行われていることは野蛮です。包囲し、封鎖することは、国際人権システムのあらゆる仕組みに違反する野蛮行為です。それはそれらを侵害し、人道に対する罪に該当します。私たちはすでに2025年がどのような年だったかを示しました。私たちの人々 労働者、ビジネスマン、共同体のメンバー、農民、漁師 が苦闘していました。ベネズエラ全土が、国民のた

めの財やサービス、食料、医薬品、必需品の保証という一つの生産的なビジョンのもとに団結しました。だからこそ、私たちは生命の防衛を呼びかけています。

一人のベネズエラ人の男女を置き去りにしてはならない。我が国に対するこの武力侵略を煽った過激派は、歴史と正義によって報われることになるでしょう。それについては疑いようがありません。ベネズエラの人々はすでにそれらを本来あるべき場所、すなわち歴史のゴミ箱に置いています。そして、意識あるベネズエラ国民　祖国の聖なる炎を燃やすベネズエラ国民　は、大統領とファーストレディであり第一戦闘員であるシリア・フローレスの違法かつ不法な誘拐に激怒しています。

ベネズエラ全土が動員されています。そして、すでにマドゥロ大統領が署名した大統領は、ベネズエラ唯一の大統領であり、その大統領はニコラス・マドゥロ・モロスという名前です。この国防評議会は、現在最高裁判所長官に送られ、憲法審判部による対応する憲法上の承認を求めています。すべては憲法の枠組みの中で行われています。

私たちはチャベス司令官から、逆境やクーデター、石油破壊工作に直面しながら学びました。私たちはベネズエラを守る準備ができます。私たちは国家の発展に貢献すべき天然資源を守る準備ができます。今日、ベネズエラの人々は自国の炭化水素とエネルギー資源の重要性を十分に認識しています。それによれば、この国防評議会が発足した。現在、憲法審議院が設立され、今後数時間内に発表されることを期待しています。憲法院の決定は、ニコラス・マドゥロ大統領が発布し署名した外部騒乱令を承認し、その外部動乱令に定められたすべての内容が現時点で実施されるよう期待しています。

私たちのベネズエラへ、私たちの国民へ:ここに明確な政府が立っています。そして私は大統領の言葉を繰り返します　私はそれを改めて受け継ぎます。私たちは敬意を持った関係に開かれています。私たちは国際法およびボリバル共和国ベネズエラの法律の枠組み内での関係に開かれています。私たちの愛する

国、そして解放者の父シモン・ボリバルの誕生を見届けた首都が攻撃され、軍事的に侵略された後、私たちが受け入れる唯一の関係です。

国家の統一の中で、ベネズエラの人々は平和と安寧への道を見つけるでしょう。国際的な合法性の名の下に武力を行使し、暴力に訴える者たちは理性に導かれていません。私たちは歴史的理性と道徳的理性に導かれ、平和、平和、ベネズエラの未来の権利、ベネズエラ国民の祖国に対する権利、そして我々の人々の未来と社会的幸福の権利を守るために搖るぎなく守られています。

解放者の父と共にアンゴストゥラに乗り、私たちは彼と共に「称賛すべき遠征」に参加します。我々は偉大な祖国を解放するために走る。そして偉大な祖国の国々と国民に団結を保つよう呼びかけます。なぜなら、今日ベネズエラに行われたことは誰にでも起こりうるからです。人々の意志を曲げるための残酷な武力行使は、どの国にも加えられる。今日、それはボリバルの人々に加えられました。

そして、賢明で忍耐強く戦略的な忍耐力を持つベネズエラの人々は、平和を守り、平和を守り、祖国を守る道を見つけることができると確信してください。すべてのベネズエラの男女の皆さん、本当にありがとうございます。

（了）